

敬学会賞第二十四回入選作品



NOTE BOOK

WITHOUT EFFORT, ONE IS SURE TO FAIL

有島武郎とその作品

について

須藤 裕子

CONTAINING BEST RULED FOOLSCAP
MARUKYO'S <YO> NOTE



TOKYO

BT A50

・とてもよい研究です、ぜひ本をよんでみよう。
そしてあなたなりにまとめてみよう。まず本をたくさんよんでみよう。
そうしていつか有島武郎という人がしぜん文のけいのつてきです。

有島武郎とその作品について

1. 有島武郎のかいた作品にはどういうものがあるか?
2. 有島武郎はどういう人だったか?
3. 有島武郎の1生について、やった仕事について
4. 有島武郎を助けてくれた人がいたか? いたらその人がだれで、どういうことを助けたりおぼえたりしたか?
5. 有島武郎の主な作品集 6. 使った本の目録
7. 作品についての感想 8. まとめ 9. 反省



◎ 研究 題 を 決 め た わ け

私たちが6年2組では毎日学級日記の下の方をよんでいます。ある日「ひとふさのふどつ」という文がありました。短い文でしたが、なんとなくその本をよんでみたくなりました。「ひとふさのふどつ」を書いた人が有島武郎です。この人はほかにもいろいろな本をかいているので「ひとふさのふどつ」のほかの本も読んでみたいし、作者についてもしらべてみたいと思って、有島武郎とその作品についてという題にきめました。

◎ この研究につかった本やノート

- 有島武郎集 (ポプラ社)
- 少年少女のための現代日本文学全集 10 (東西文明社)
- 去年の佐藤賞青山順子さんの研究ノート (宮沢賢次とその作品について)
- 人名事典 (東京・神田・小学館)

有島武郎のかいた作品にほど
ついついものがあるか？

カインの末裔 「カインの末裔」は大正六年の作
品である。そして有島武郎の作家としての名
を、決定的なものにせしめた傑作である。
学習院を卒業し、アメリカの大学にまなび、欧米
の文化に接した名門の子である有島武郎と
「カインの末裔」の主人公である無知な味で野
蠻じつのように貧しい男仁若衛門は、まったくちが
うように思われる。しかし有島は、仁若衛門を通
して、自分の気持ちをえがいたのだといっている。
それは仁若衛門という原始的な人間のもっている自由
な真情を、自分もまた生きたいというかれの願いを
あらわしたものだからである。この小説の主人公
仁若衛門は、きつぱな男であり、村のきられ者でもあ
る。そして、自然も、運命も、人間も、かれがいっしょにな
めい働いてする仕事に報いてくれない。たしかに勝ち
みのあった競馬さえ、ちよつとこのところがかれの負けに
なる。有島武郎は、そついつひよつぱくの人仁若衛門
を愛している。しかし、またここでも、いくらかかれ
を愛しても、かれが救われない人間であるこ
とを知って、有島は、ぜつぼうしているのである。
なにゆえ、かれは愛されても救えないのか。そ
れはかれの生まれてきたかんきょう、かん
きょうがつくった性格、人間社会とかれの
門に横たわる宿命的なみぞは、どうにも
うめられようがないからである。

小さな者へ 「小さな者へ」は、大正七年に書
かれた文章で、つまを失った有島武郎が、その
子供に残して、母の愛情を語り、不幸に
成長するようにといひをこめたものである。

が、いかにその子供たちを愛していたかがよく
わかり、父性愛のみならず、父であること
にびんぼうでじゅうぶんに医療をとれなかった
しさんのことをわすれてはならないといつて
いるところなど、いかにも有島武郎らしい人道
的精神がうかがえて、かれの父性愛が、たん
なる親バカ的なものでないことを示している。

ひとつさのぶどう (大正10年) **おぼれかけた兄妹** (同)
火事とボチ (11年) 「ひとつさのぶどう」では、
つみをにくんで人をにくまぬやさしい先生の
愛情が、「おぼれかけた兄妹」はおそろしさの
ために妹を見すてて逃げたかいこの情が
「火事とボチ」は、火事をしらせてくれた犬への
愛情が、それぞれ、やさしく書かれてある。その
どれにも、作者のやわらかい心が通ってい
て、読むものを感動させる。

ドモ又の死 「ドモ又の死」は、大正11年の作
品である。この「死」の第1号に発表されたもの
であるから、作者としては非常に意気込み
きんちょうして書いたき曲である。

碁石を君んだバちゃん	ぼくの帽子のお話
片輪者	かんかん虫
クララの出家	庚辰堂
ある女	お末の死
死とその前後	ひきょう者
草の葉	ミレーらいさん
サムソンとデリラ	せいさん
大こう水の前	せんげん1つ
ホイトマン詩集	生まれいづるなやみ
石にひしかれた	星座
ほね	しゅきょう
みちゅう	がい
親子	西が古伝
つづの道	老船長のげんかく
小き	げんそ
かどで	あるいようが
フランススの顔	しおきり
クロボトキの印象	平ぼん人の手紙
私の母	死
深路	動かぬ時計
はくち	私の父と母
三部曲	旅する心
御程	小さな者へ
芸術と生活	小作人への告別
満往	新橋

2. 有島武郎は、どういふ人だったか
 有島武郎という人は、よい家庭に
 育ち、金の不自由をまったく経験する
 ことがなくくらしただけです。そのため
 に、自分自身非常になやんだのです。
 世の中には、びんぼうでこまってい
 る人々がたくさんいるのに、自分まな
 に不自由なくくらししている。それでよ
 いのかという疑問に、かれは一生苦し
 み通したので、そして、不幸な人、び
 ンボウな人たちを愛し、愛することによ
 って救おうとかれは考えました。この考
 えが、かれの文学を生む母体となっ
 たのです。



3. 有島武郎の1生について

有島武郎の年譜

1878	明治11年	3月4日、東京小石川水道町52番地に生まれる。父武、母幸子の長男として生まれた。父はさつまの人。とうじ松方公にしたがい、大くらずより海外はけん中であつた。明治13年に、妹愛子生まれる。
1881	明治14年 3才	高等いはん学校ふぞくようち園にはいる。
1882	明治15年 4才	父が横浜の税関長に

		任命されるとともに、1家をあげて横浜の官舎に移る。父の考えから、妹愛子といっしょに、米国人の家で生活し、のちに山の手20番の英和学校にはいる。また、家庭では父からきびしい武士道的な教育をつけた。この年、弟いくま(生馬)生まれる。
1884	明治17年 6才	妹、志摩生まれる。翌年、弟りゅうぞう生まれる。
1887	明治20年 9才	5月、英和学校退学。6月、学習院予備科第3級に入學。き、宿舍にいれられ、土曜ごとに横浜のかんしゃにかえた。
1888	明治21年 10才	こうたいでんかのご学友にえらばれ、毎土曜日にふきあげごてしにつかがつた。このころから文学に親しみ、また絵にも興味を感じた。この年、弟英夫(里見弴)生まれる。
1889	明治22年 11才	時の文部大臣森有礼が殺されたのを知って、海軍軍人になることをやめ、農業にしようじてみたいといふ心がある。



1890	明治23年	12才	七月、学習院予備科卒業。中等科に進学。
1891	明治24年	13才	父が大くら畑関税局長せん任となったので、1家は東京に移ったが、武郎はやはり学習院の寄宿舎にいた。
1893	明治26年	15才	父が上官と政治上の意見のしつとつから大くら畑国子監局長のしよくをしりぞいたので、かまくらに木下住む。武郎と妹の愛子とは東京にのこって外祖母のせわをつけた。よく年、弟行郎生まれる。
1895	明治28年	17才	岩倉ともはらとともに、東洋史学者、白鳥庫吉のしよくにはいって、歴史を学ぶ。
1896	明治29年	18才	7月、学習院中等全科卒業。8月、北海道にわたり、にとべはく土の家におせわになる。9月、さっぽろのつ学校予科第5級に入学。森本こう吉と知りあ。
1897	明治30年	19才	キリスト教に近づく。7月、農学校本科に進級する。
1900	明治33年	22才	独立教会にはいる。内村かんていの感化をつけるこ

			とが大きかった。人生の帰趣を『学芸会雑誌』に発表。さっぽろ農学校校歌をつくる。
1901	明治34年	23才	7月、さっぽろ農学校全科卒業。卒業論文に「かまくらばく」初代の農政を書く。夏に、森本こう吉と共著で『川ビングストン伝』をかんこう。12月、1年しかはいとして軍隊にはいる。
1902	明治35年	24才	明治退官。見習士官に任ぜられる。
1903	明治36年	25才	皇太子でんかのごほどつにすいせんされたが、じたいした。8月、米国にゆう学し、ペンシルバニア州のハーバーフォード大学院に入学。歴史やけいぎいを学ぶ。このころから宗教的生活へのうたがいと、社会問題への関心とから、しだいに文学へのあこがれを持つようになる。
1904	明治37年	26才	6月、『日本の歴史にえいきうしたる外国文明』という論文を提出して、マスター・オブ・アーツの学位をあたえられた。ハーバーフォード大学院を出て、すぐにフランクフォード精神病院には

いりかんじとなる。二か月の
の苦しいきんらうののち
同院をしりぞき、9月、マサ
ーセッツ州のハーバード大
学の大学院せんこうか
にはいり歴史および経済
学をせんこうしたが、あま
り興味がなかった。エマ
スンを読み、ホイットマンの詩
に親しみ、フランドスと
ツルゲーネフに心をかたむけた

1905 明治38年 2才 大学を去り、いちじある農
家で働き、9月、ワシントンの
国会付属図書館において
歴史および文学をせんこ
うした。このころおもにイブ
セントルストイ、クロボト
キンなどの著書を愛読した。

1906 明治39年 28才 4月、かんかん虫をワシン
トンにおいてしっぴつ。
9月、イタリアに渡り、ナポリ
で留学中の弟庄馬に会い、
ヨーロッパをまわって翌
年、4月帰ってくる。

1907 明治40年 29才 2月、ロンドンでクロボトキン
と会う。9月から予備見習
士官として、ふたたび軍隊
生活にはいる。12月5日、

東北帝国大学農科大学の
英語のこつしとなる。この年
志賀直哉、武者小路実篤
らと知りあつ。

1908 明治41年 30才 6月、英語こつしよくたくをとが
れ、大学予科教授に任ぜられた。

1909 明治42年 31才 2月、平日をさっぽろにてし
っぴつ。3月、かみおや好
むとこんする。7月、日英は
くらん会出品委員を、10月、
日英はくらん会出品英文大
学くらん会さん委員を命ぜられ

1910 明治43年 32才 武郎の文学的活動はこの
年からはいじまった。4月、
同人雑誌「白樺」をつかん。
弟、庄馬、とんとともに、同
人となる。同月、西村古伝、
5月、「2つの道」、7月、「老船
長のげんか」、10月、「いか
ん虫」、11月、「はん逆者」を、
おのおの「白樺」に発表する。

1911 明治44年 33才 長男符太郎(森まさゆき)生
まれる。独立教会を去り、
いままでのキリスト教的
信仰をすてた。1月、「ある女
のグリンプス」(のちに「ある
女」とかいだい)を「白樺」

1912	明治45年 34才	にれんさいいはじめる。 3月、川さいゆめを「白樺」に発表。この年、次男敏行生れる。
1913	大正2年 35才	2月「白樺」にれんさい中のあつ女の「グリンプス」完了。(あつ女前編21までにあたる)
1914	大正3年 36才	4月、「An Incident」、8月、「だん想」を「白樺」に発表する。夏、父母とともに1家をあげて九州へ旅行する。秋、妻安子が肺をおかされ、療養所さっぽろから東京に移った。
1915	大正4年 37才	農家大学の教職をやめる。安子はかまくらの転地、さきから平塚の病院に入院。3月「晋途」(迷路の序編)を「白樺」に発表。7月より12月まで「宣言」を「白樺」にれんさいする。9月、き曲「4ノとデリフ」を「白樺」に発表。
1916	大正5年 38才	1月、「お末の死」および「き曲「大こう水の前」」を「白樺」に発表。3月、「フランススの顔」を「新家庭」に発表する。7月、「フロボトキンの印象」を「新潮」に、「しおぎり」を

		「時事新報」に発表。8月2日、妻安子死去する。つづいて12月4日、父をうしなう。この年、よさのあき子と知りあふ。
1917	大正6年 39才	5月、「き曲死とその前後」を「新公論」に発表。6月、「おしみなく愛はうばづ」を「新潮」に発表。7月、「いぼん人の手紙」を「新潮」に、「カインの末えい」を「新小説」に発表する。9月、「ワラの出家」を「太陽」に、「実験室」を「中央公論」にそれぞれ発表する。10月、「がいせん」を「文章世界」に、「私の母」を「新家庭」に発表。同月、はじめて武郎著作集第1集「死」を、新潮社より刊行。11月、「迷路」を「中央公論」に発表。同月、正宗白鳥、島崎藤村とともに「新愛知」(けんしゅう小言説)の選者となる。12月、著作集第2集「宣言」を刊行。
1918	大正7年 40才	1月、「おさき者」を「新潮」に、「動かぬ時計」を「中央公論」に発表。2月、著作集第3集「カインの末えい」を刊行。4月、世まれいする「なやみ」の1部を大阪毎日新聞に、「石に

ひしがれた雑草を「太陽」に
発表する。同月、著作集第4集
「はんぎゃく者」を刊行。6月、
著作集第5集「迷路」を刊行。
8月、島村ほづ月、まいつすま子
と知りあふ。9月、著作集第6集
「生れいするなやみ」を刊行。
10月、つしごめの芸術クラブ
で「死とその前後」が上演
された。11月、著作集第7集
「さき者」を刊行。12月、
「私の父と母」を「中央公論」
に発表する。

1919 大正八年 41才

3月、著作集第8集「あやめ」
前編を刊行。同月、こう演
のため京都、大阪などに
旅行した。6月、著作集第
9集「ある女」後編を刊行。
8月、3人の子どもとともに、
北海道を旅行した。12
月、著作集第10集「3部曲」を刊行。

1920 大正九年 42才

6月、著作集第11集「おしみな
く愛はつばづ」を刊行。
10月、「ひきょう者」を「現代
小説選集」に発表。この月、
北海道の農業視察一
に行った。11月、著作集
第12集「旅する心」を刊行。

1921 大正十年 43才

2月、き曲^{はら}「御柱」を「白樺」に
発表。4月、著作集第13集「
さな火」を刊行。9月、有島
で「死とその前後」を、10月、
しんとみさで中村吉えもん
らによって「御柱」が上演さ
れた。同月、イトマン詩集
(第1巻)をそう文かくより
刊行。またこの年は他に
どう話「ふさのぶどう」
「おぼれかけた兄女」
「石をのんだツハちゃん」
「ぼくのおぼしのお話」
などを発表する。この年、
文部省の国語調査会
委員にえらばれた。

1922 大正十一年 44才

1月、「宣言」を「改造」に、
童話「かたわ者」を「つ
しの友」に発表。5月、著
作集第14集「屋ざ」を刊行。
6月、どう話集「ふさの
ぶどう」をそう文かくより
刊行。8月、「火事とボチ」を
「人公論」に発表。この
月、北海道から太の
有島農場がいほう、宣言
をする。9月、著作集第15
集「芸術と生活」を刊行。
10月、個人雑誌「泉」をそ
う文かくよりそう刊行し

1923 大正12年 45才

はイトマンの「言葉の歌」から「ドモ又の死」の「小作人への告别」を「泉」第1巻第1号に発表。11月、カリタ共せいのうえん記念ひこいりゅうされる。12月、しんげきざにより「ドモ又の死」が上演された。

1月、しゅきょう、2月、あるせりやうかん者、3月、き曲「だんきょう」、4月、「はね」5月、「親子」をそれぞれ「泉」に発表する。この月、ていこくげきじょうにて、おのえきくごろう、もりたかんやらにより、「だんきょう」が上演された。6月8日、午後3時、家を出て、9日朝、軽井沢三笠山のべっそうじょう、あかかの家で自殺する。

4. 有島武郎を助けてくれた人がいたか？
いたらその人がだれでどういうことを助けたりはげましたりしたか。
文学的のことではありませんが内村かんぞう（宗教家・教育者）のえいきょうで、キリスト教信者になった。

5. 有島武郎のおもな作品集

全集
有島武郎集 現代日本文学 21 筑摩書房
現代日本小説大系 30 新理想主義 6 河出書房
有島武郎集中学生文学全集 8 新紀元社
有島武郎名作集 少年少女日本文学選集 14 あかね書房
有島武郎作品集 (全3巻) 創元社
有島武郎全集 (全12巻) 叢文閣

文庫

ドモ又の死 他2編
ドモ又の死・断橋
ある女(前・後)
ある女(上・下)
生まれいずるなやみ 他1編
カインの未えい
カインの未えい・クラウの出家
宣言
小さき者へ 他3編
小さき者へ・生まれいずるなやみ
ふさのぶどう 他5編(童話集)
ふさのぶどう 他1編
おしみなく愛なつばつ
星座

角川書店
岩波書店
岩波書店
新潮・角川・河出
角川書店
角川・河出
岩波書店
岩波・角川
角川書店
岩波・新潮
岩波書店
角川書店
岩波・角川・新潮
岩波・角川

新書
石にひしかれた雑草
生まれいずるなやみ
かんかん虫
星座
宣言
小さき者へ

東方社
ジ
シ
シ
シ
シ

遠路 東方社
おしみなく愛はうばう

単行本
カインの末えい(ポケットブック・コレクション) 小山書店
ふさのぶどう・ことの太郎(日本童話名作集) 三十書房
その他

6. 使った本の解説(あき子の解説)

おじさま(武郎)にせなかをたたかれたおかえしした
い、いつまたかまくらへきてくださるだろうと
首を長くして待っているうちひと月たない6月
8日、大すきなおじさまがささこの世から消
えてしまわれた。それが、12才の少女にどんなえ
いきょうをあたえたかそうぞうにあまりあるほ
どだった。……そんなにかいたんに死んでしま
っていいものかどうかひはんするだけののうか
もりんりのきはんもなかったし、おとなの話を聞い
ては、長いことなぜというよりしかたがなかったの
。ふさき者への中で「おまえたちは私のたおれ
たところから新しくあゆみださねばならないの
だ。しかしどちらの方向にどうあゆまねばなら
ぬかは、かすかながらにもおまえたちは私の
足あとからさがしたすことかできるだろう」
自分の子どもと同じようにかわいからてくだ
さったおじさまへのごおんがえいは、私が長いこ
とかがってさがしもとめた神への道をまっすぐ歩
くことだと思っているの、私がおじ上の足あと
からさがしたしたものはかえってそれだった
のですもの……

7. 作品についての感想

全体的に作者の愛情ややさしさがあらわれて
いる。とくに、ふさのぶどうの先生が有島武郎の
ようだ。ふさのぶどうのようなゆめいかな作
品があるが、だいたいの作品がおとなむきた
空想的でなく、じぶんのことを考えてかいている
ぜったい的なところが多い。
宗教的なところがある。(かたわ者などその他)

8. まとめ

- ・1878年から1923年までの人
- ・武郎が文学生活にはいったのは1910年
からの13年間だった
- ・東京に生まれ、さっぽろ農学校(いまの北
海道大学)にまなび、内村かみ三のえいき
うで、キリスト教信者になった。アメリカに
りゅう学雑誌「白樺」がそうかんされると
これにくわわり「小説ある女」を发表、1922
年、北海道の全さいさんを小作人にわ
けあたえた。その後、理想とじっさいの
生活とのくいちがいにゆきづまり、自殺
した。
- ・＜作品＞「ひとふさのぶどう」
「ふさき者」生まれいづるなやみその他
- ・作品には、作者の愛情があらわれている
- ・作者の母有島幸子 父有島武
- ・武郎の兄・妹は(武郎・愛子・生馬・しま
りゅうぞう・ひでお・行お)の八人兄妹
- ・有島武郎の生まれたところ
3月4日、東京小石川水道町52番地に生まれた

9. 反 省
有島武郎とその作品についてという研究をしたが、武郎の1生のことはかなり長くくわしくかいて、作品のことをあまりくわしくかかなかった。

。 わたしは、去年もおと年も理科の研究をしたが、理科ばかりやらないで今年は国語の研究をやったのでよかった。

。 去年やおと年は、少し母に手伝ってもらったが、今年はだれにも手伝ってもらわなくて、一人でやれたのでよかった。

。 研究をはじめるのがおそかった。

。 わたしは、武郎の作品を11ぐらいよんだが、もっとも、たくさん作品をよんで、この研究をすればよかったと思う。

。 作品の全体的かんそうばかりかいて、作品一つの感想をかかなかった。

生まれいつるなやみ

の最後の文

きみよ! いまは東京の冬も過ぎてつめがさき っぱきかが
よくよつになった。太陽の生みだす愛の光を、地面は
むねをはりひろげてすいこんでいる。春がくるのだ。
きみよ、春がくるのだ。冬のあとには春がくるのだ。
きみの上にもたしかに、正しく、かづよく、永久の春が
ほおえぬよかし……ぼくはただそう心から祈る。

作品についての研究はやはり作者のほんとうの考え、気持をよく読みとることだと思います。それにはたくさん本を読まなければならぬと思います。反省にもあったが、経歴の説明が主だった。